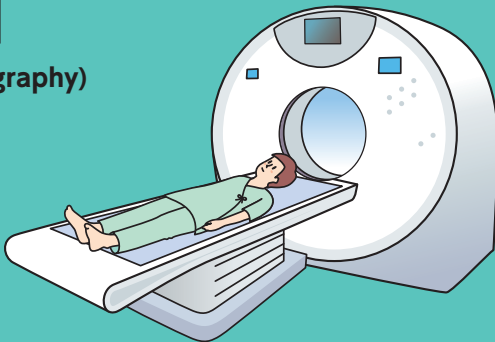
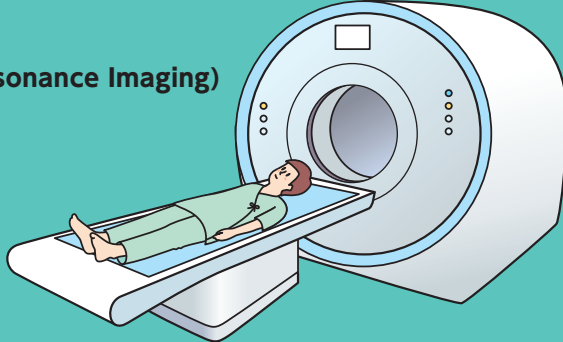


医療用検査 X線CTとMRIの違い

	<h2>X線CT</h2> <p>(Computed Tomography)</p> 	<h2>MRI</h2> <p>(Magnetic Resonance Imaging)</p> 
仕組み	放射線 (X線) を利用	磁力と電波を利用
時間と患者の動き	検査時間は短い (1部位:10分程度)	検査時間は長く (1部位:20分~60分程度)、患者の動きに弱い
音	小さい	大きい
放射線被ばく	ある	ない
組織のコントラスト	MRIに劣る部位がある	非常に鮮明
細かい描写	可能 (MRIより優れる)	可能
骨に囲まれた部位	画像の乱れが多い	画像の乱れが少ない
出血の状態の撮影	可能	可能 (X線CTより優れる)
血管の状態の撮影	不可能 (造影剤を用いることで可能)	可能
体内に金属がある場合	撮影可能 (ペースメーカー等機器の場合は、撮影できないことがある)	撮影できない (体内にある金属が磁石に反応しない場合は、撮影できることがある)